

## 男女間における暴力に関する調査 報告書

平成 27 年 3 月

内閣府男女共同参画局

## 目 次

I	調宜の慨要	1
1	調査目的	3
2	調査項目	3
3	調査対象	3
4	調査時期	3
5	調査方法	3
6	調査実施委託機関	3
7	回収結果	4
8	回答者の属性	5
	(1) 性別	5
	(2) 年齢	5
	(3) 職業	6
	(4) 子どもの有無	8
	(5) 年間収入	8
	(6) 最終学歴	8
	(7) 未既婚	10
	(8) 交際相手の有無	11
9	この報告書を読む際の注意	12
Ü	C O TROLL COLONIA LA LA COLONIA DE LA COLONI	
П	調査結果の概要	13
1		15
	(1) 配偶者暴力防止法の認知度	15
	(2) 配偶者からの暴力の相談窓口の周知度	17
ຄ		
2	夫婦間での行為についての暴力としての認識	19
3	配偶者からの被害経験	22
	(1) これまでの被害経験の有無	22
	(2) 過去1年以内の配偶者からの被害経験	25
	(3) 配偶者からの被害の相談先	28
	(4) 相談しなかった理由	30
	(5) 配偶者から被害を受けたときの行動	31
	(6) 配偶者と別れなかった理由	32
	(7) 子どもことが原因で別れなかった理由	33
	(8) 子どもの被害経験	34
	(9) 命の危険を感じた経験	35
4	交際相手からの被害経験	36
•	(1)「交際相手からの暴力 (デート DV)」の認知度 ····································	36
	(2) 交際相手からの被害経験 ····································	38
		-

	(3) 交際相手から被害を受けたときの行動	43
	(4) 交際相手と別れなかった理由	44
	(5) 命の危険を感じた経験	45
	(6) 生活上の変化	46
	(7) 交際相手からの被害の相談先	47
	(8) 相談しなかった理由	49
5	特定の異性からの執拗なつきまとい等の経験	50
	(1) 被害経験の有無	50
	(2) 加害者との関係	52
	(3) 命の危険を感じた経験	53
	(4) 電子メールやインターネットなどによる被害経験	54
	(5) 被害の相談先	56
	(6) 相談しなかった理由	58
	(7) 生活上の変化	59
6	異性から無理やりに性交された経験(女性のみ)	61
	(1) 被害経験の有無	61
	(2) 加害者との関係	62
	(3) 被害にあった時期	63
	(4) 生活上の変化	64
	(5) 被害の相談先	66
	(6) 相談しなかった理由	68
7	男女間の暴力を防止するために必要な対策・体制	69
	(1) 男女間の暴力を防止するために必要なこと	69
	(2) 被害者が相談しやすくするために必要なこと	70
Ш	使用した調査票(単純集計結果)	71
IV	集計結果	89